



【 掲載記事 】

- p2 話題（新潟県）・・・魚沼基幹病院（仮称）公募型プロポーザルを実施
 P4 話題・・・第12回公共建築賞優秀賞（北陸地区）が決定しました
 P5 話題・・・新潟美咲合同庁舎ユニバーサルデザイン診断
 p7 施設整備・・・金沢広坂合同庁舎耐震改修事業の紹介 - その4 -
 P8 保全情報・・・庁舎の電気設備について - その2 -
 P10 情報ヘッドライン



施設名 : 金沢地方家庭裁判所輪島支部

所在地 : 石川県輪島市河井町

入居官署 : 金沢地方裁判所輪島支部
 金沢家庭裁判所輪島支部
 輪島簡易裁判所

発注者 : 国土交通省北陸地方整備局

工事期間 : 平成20年12月～平成22年3月

施設概要 :

構造規模 鉄筋コンクリート造 2階建

延べ面積 約1,640㎡

敷地面積 約3,410㎡

庁舎は中心市街地のにぎわい再生と活性化をめざす「輪島・都市ルネサンス」事業による『輪風（輪島らしさ）』の街並み整備が進む馬場崎通りの路地にある。現地建替えて、敷地内に仮庁舎を建て執務を継続しつつ、地域や周辺住民に配慮しながら新庁舎の工事が進められた。

外観は『輪風』を意識した勾配屋根・平入り庇・面格子で構成し、馬場崎通りからのアイストップとして、通りの景観との調和を図っている。内部は1階に法廷・執務部門、2階に審判・調停部門を配置し、裁判制度及び裁判事件の多様化など新たなニーズに対応している。

国土交通省北陸地方整備局営繕部
 国土交通省北陸地方整備局金沢営繕事務所



魚沼基幹病院(仮称)公募型プロポーザルを実施

新潟県土木部都市局営繕課



1. 事業の目的

魚沼市と南魚沼市の地域では、県立小出病院、県立六日町病院及び南魚沼市立ゆきぐに大和病院が、それぞれの地域の中核的な病院として、地域住民の生活に欠かせない存在として運営されてきましたが、医師不足の中、同じような規模、医療機能を持つ3病院が併存し診療機能が重複していることなどにより、住民は、地域に必要な高度医療等を十分に受けられる状況ではありませんでした。

このため、3病院を、地域の拠点的医療を担う「基幹病院」と、住民に身近な医療を担う「周辺病院」に再編し、機能分担を図ることにより、地域全体の医療水準の向上、持続可能な医療提供体制の構築を目指すこととし、このたび、再編の中核を担う基幹病院の建設に当たり、高い技術力と豊富な経験を有する優れた設計者を選定するため、公募型プロポーザルを行いました。

2. 審査経過

審査は二段階方式とし、一次審査では、「技術力」「地域実績」について、二次審査では、「取組意欲」「業務実施方針」及び「特定テーマに対する技術提案」について評価を行い、「山下設計・総合設備設計」V」を最優秀提案者に特定しました。

3. 最優秀提案の概要

計画の基本的な考え方

「基幹病院の骨格」は、施設や敷地などの物理的な持続性に関わる「空間の骨格」(ハード)と医療の充実化や質の高い医療の継続的な提供に関わる「安定的な経営基盤」(ソフト)の2つの考え方で構成され、相互を密接に結びつける計画立案となっています。

ハード面では、連携の拡張軸となる「メディカルアーケード」に加え、各施設の運営を支える「サービス通路」と病院内の機能連携を促進する「ホスピタルストリート」の3つの動線を組み合わせた計画となっています。

特定テーマ(ア)

患者に信頼され、医療スタッフが魅力を感じる病院(マグネットホスピタル)を実現するための施設整備

魅力ある病院(マグネットホスピタル)づくりの提案として、効率性の向上による無駄な時間や行為の削減、医療者のスキルを高める場の創出、地域の医療保険福祉施設との連携による専門性の強化、患者やスタッフのためのアメニティ向上の4項目をあげ、院内保育園や研修医のための簡易宿泊設備を備えた生活支援棟を設けています。

特定テーマ（イ）

医療を取りまく環境変化に柔軟に対応可能な施設整備

将来の変化を見据え、まちづくりにつながる発展力、施設機能の自由度、施設の拡張力、変化に対する対応力、高度医療機能の持続性、医療安全の確実性の6つ視点に基づく計画立案を行い、「病院棟」「エネルギーセンター棟」「生活支援棟」の3つの棟を「メディカルアーケード」で結ぶ「分棟連結型」とすることで、各棟の将来拡張に柔軟に対応できる施設構成を提案しています。

特定テーマ（ウ - 1）

過去の震災等を踏まえ、災害時においても継続して医療提供が可能な施設整備

「災害時自立型病院」を提案し、耐震性の確保、豪雪対策、災害時の自立運営機能、災害時医療への機能転換の4項目をあげ、病院棟には免震構造を採用、屋上ヘリポートや救急車動線の複数確保、災害時の医療的孤立に備えるための5日間分の備蓄スペースの確保など、地震や豪雪時にも病院機能を維持可能な計画となっています。

特定テーマ（ウ - 2）

ライフサイクルコストを踏まえ、環境負荷低減を図るための施設整備

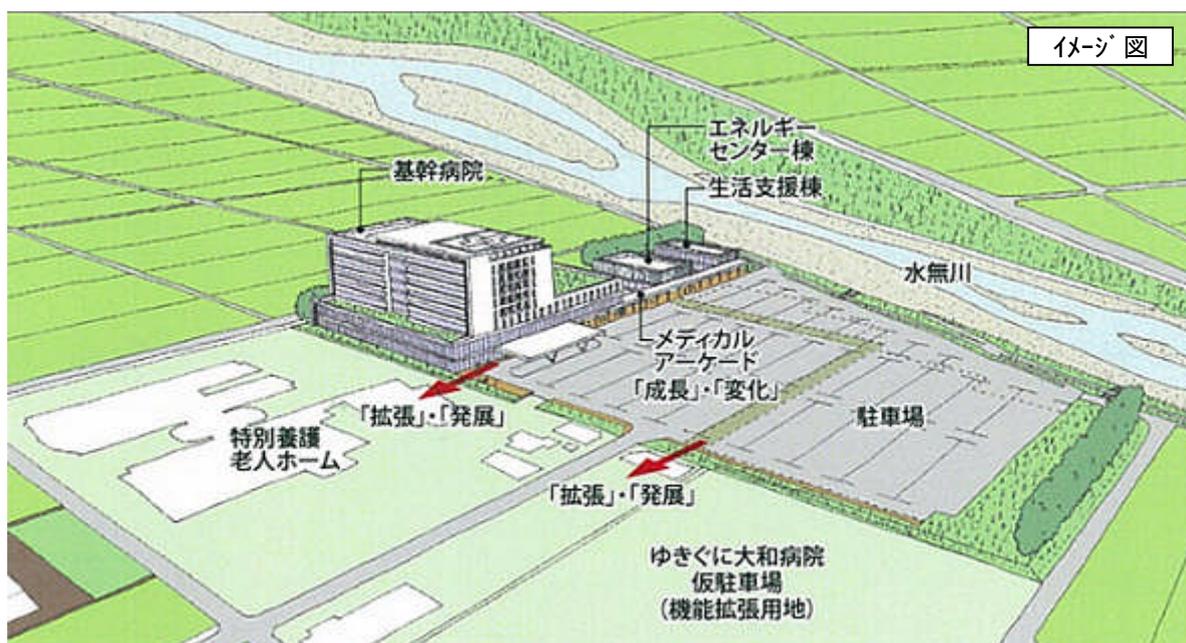
コスト削減の対象として、光熱水費の削減、改修修繕費の削減、管理清掃費の削減の3項目をあげ、スケルトン・インフィルによる改修コストの低減を提案しています。

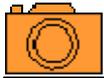
4．施設の概要

| | |
|------|----------------------------------------|
| 施設名 | 魚沼基幹病院（仮称） |
| 計画地 | 南魚沼市浦佐4 1 1 5 番地 （南魚沼市立ゆきぐに大和病院敷地内） |
| 病床数 | 454床 |
| 敷地面積 | 約42,000㎡程度 |
| 延床面積 | 約33,000㎡程度 |
| 診療科 | 19診療科 |

5．今後のスケジュール（予定）

| | |
|------|------------------------------------------|
| 基本設計 | 平成22年3月15日～10月29日 （山下設計・総合設備設計 設計共同体） |
| 実施設計 | 平成22年度～平成23年度 |
| 着工 | 平成23年度 |
| 開院 | 平成27年6月頃 |





第12回 公共建築賞優秀賞(北陸地区)が決定しました

第12回「公共建築賞優秀賞」が決定し、北陸地区の受賞3作品の伝達式が6月16日に行われました。

「公共建築賞」は優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的な水準の向上に寄与することを目的として、(社)公共建築協会が国土交通省、全国知事会、全国市長会及び全国町村会の後援を得て実施しているものです。ひろく公共建築のあるべき姿についての意識を啓発し、より優れた公共建築を生み出すことに役立たせたいというのですが、評価の基準として企画・設計・施工が優れていることのほか、地域社会への貢献や施設の管理・保全といった視点からも評価を行っており、竣工後3年間以上経過した施設を対象としています。

今回の受賞作品を紹介します。

(作品データは最終ページに紹介します)

野々市町役場新庁舎 (行政部門)



金沢市に隣接する野々市町中心部近くの新たな賑わいを生み出しつつある新市街地に建設された庁舎です。住民参加による庁舎づくりを行い、地域と一体となった取組と活用がなされている施設と中央広場を一体化しつつ、庁舎の開放性、窓口と利用者の一体感、わかりやすさ等を演出した施設構成となっている空間構成からディテールまでしっかりと造られており、庁舎建築として尊厳さと親しみやすさが同居していることなどが評価されました。

津幡町文化会館シグナス (文化部門)



町の新たな中心エリアに文化ホール・図書館・生涯学習施設・児童センター等の複合機能をもつシンボル施設として建設されました。

住民要望を取り入れ利用者の立場で企画され親しみのある憩いの空間を実現している高齢者から子供まで幅広く利用され、身近で多彩なイベントが催され、地域の文化施設として十分貢献している多様な機能をロビー等で巧みに連結したわかりやすい空間構成となっており、建築物としてきめ細かな配慮がなされていることなどが評価されました。

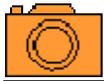
射水市立堀岡小学校 (生活部門)



新しい教育の場としての可能性を持ち、地域コミュニティの核となる施設として新旧市街地の結節点の位置に建設された小学校です。

新旧市街地を一体的につなぐ地域コミュニティ核施設として物心両面で寄与していること地域教育活動への参画や地域開放の活発化など地域の交流拠点としての機能を果たしていること低層で多様な庭空間を内包・分節化し、わかりやすいゾーニングと快適でフレキシビリティの高い新たな教育空間を提供していることなどが評価されました。

あなたの声を聞かせてください



『新潟美咲合同庁舎ユニバーサルデザイン診断』

新潟美咲合同庁舎1号館は、官庁営繕部が平成18年3月に『官庁施設ユニバーサルデザインに関する基準』を制定する前に設計し、平成17年に完成していますが、設計施工に関しては、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方を取り入れたものとしています。

工事中に施行段階でのUD検討会を実施し、障がい者の方や有識者の方々からご意見を頂き、実情に合わせた対応をしてきました。

1号館には全国の官庁施設に先駆けた音声誘導装置を備え、当時の業界新聞には「障害者や高齢者の利用を考慮し、段差の解消をはじめ、多機能トイレ、タッチパネル式の多目的情報案内板などITも駆使し、1ランクも2ランクも進んだ人にやさしい庁舎になっ

た。」と掲載されました。

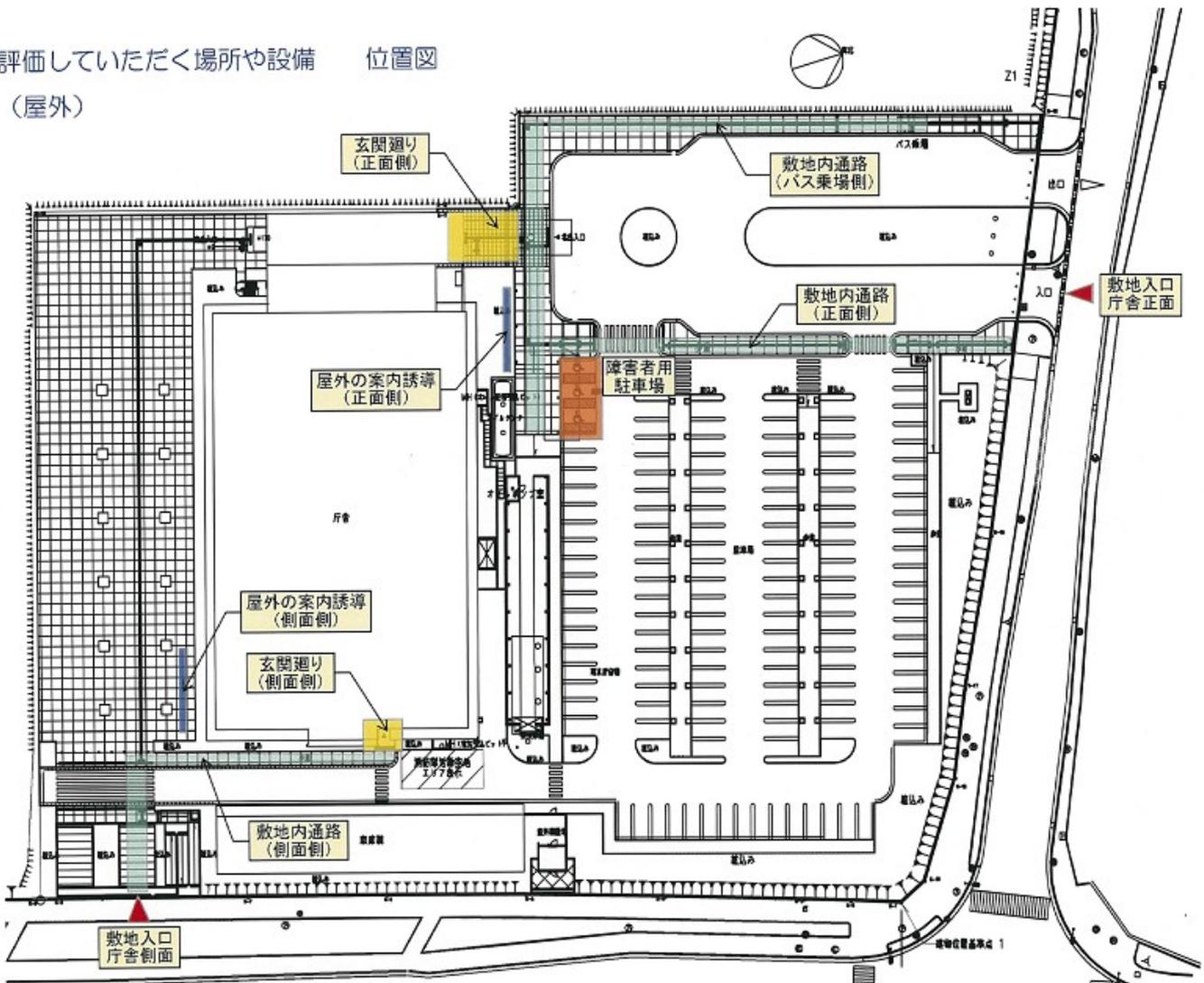
庁舎が完成してから約4年が経過し、フォローアップとして運用段階でのUD診断を昨年の12月に実施しました。

診断については、障がい者の方に1号館に来ていただいて、その視点から施設の運用・管理上の留意事項等をヒヤリングする方法で行いました。

障がい者団体への診断の依頼については、新潟市の障がい福祉課様のご協力で、各団体がUDの趣旨を理解され、積極的に賛同していただきました。診断にご協力いただいた方々は、肢体不自由者（車椅子、要介助）の方4名、視覚障がい者の方2名、オストメイトの方2名、聴覚障がい者の方3名、発達障がい

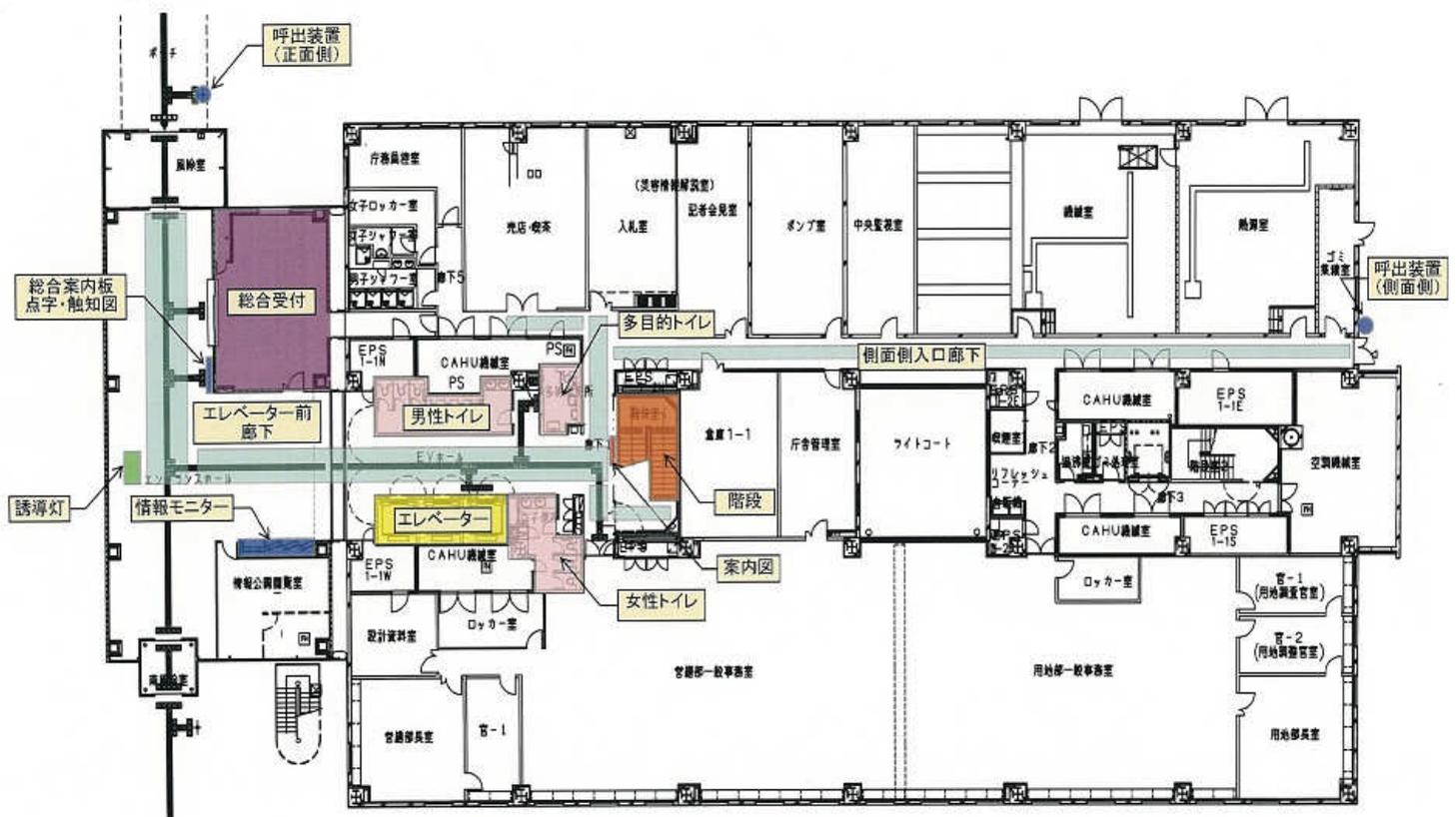
評価していただく場所や設備 位置図

(屋外)



<配置図>

(庁舎内)



<1階平面図>

者の方7名、知的障がい者の方2名、母国語が日本語でない方2名の計22名。ほかに介助あるいは付き添いの方々へもご意見を伺いました。

実際の診断は、駐車場からのアプローチから、1Fホール、E V、便所、階段等主に1階部分を中心に診断者の方々に自由に行き来していただいて、具体的な留意事項等をお聞きしました。

診断結果の特徴的なこととして、

視覚障害者は多目的トイレは絶対に使用しない。(広くて様々なものがあるため多目的トイレの中で右往左往し、外に出られなくなる)

インターホンや総合案内板の点字表示位置は、車椅子視覚障がい者にはちょうどよいが、車椅子を使用しない視覚障がい者にとっては、低すぎて手首に角度が付きすぎてつらい。

多目的トイレの介助用ベットは両脇に介助者が入れるスペースがほしい。(障がい者の成長とともに、1人介助ではなく、2人介助が必要となり、その場合ベットの両側にいることが必要)

外部の庁舎案内板が、庁舎と景観にマッチしすぎて目立たなくわからなかった。

あまり受付にはいかない。(聴覚障がい者の方は筆談をするため受付に行くが、特に発達障がい者のかたは受付には行けない)等々、多種多様なご意見を頂戴しました。また、日本オストミー協会新潟支部長様には、多目的トイレのオストメイト用汚物流しで、実際にパウチの交換を実践していただき、これからの施設整備において大変参考となりました。

冬場の診断ではありましたが、快くご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



金沢広坂合同庁舎耐震改修事業の紹介 - その4 -

免震レトロフィット耐震改修の完成

金沢広坂合同庁舎の耐震改修工事は平成20年1月から着手し、低層棟の耐震改修工事及び設備棟新築は平成21年3月に完成、引き続き高層棟の耐震改修工事が行われ、約2年2ヶ月間を要した耐震改修工事は、平成22年3月に全ての工事が無事完成しました。

本事業は、1965年に建設された庁舎が、災害応急対策拠点施設として総合的な耐震性能を確保し、大地震災害時にその機能を十分発揮できるように、庁舎内で執務を継続しながらの、免震レトロフィット工法による耐震改修工事として実施しました。

なお、事業の整備目標・基本方針は2008年夏号、基礎免震工法は2009年夏号、設備配管・配線及びエレベーター工事は2009年秋号の紹介記事を御覧下さい。

整備概要

施設名：金沢広坂合同庁舎

所在地：石川県金沢市広坂2-2-26

工事期間：平成20年1月～平成22年3月

構造規模：RC-8/1

延べ面積：約18,380㎡

改修工事概要：

建築：高層棟 免震レトロフィットによる改修
(基礎下免震 + 中間階免震)

低層棟 耐震壁増設による改修

設備：免震化に伴う設備類更新・改設

他：設備棟新築、外構整備

入居官署：

金沢国税局・北陸農政局・北陸総合通信局・石川行政評価事務所・税務大学校・刊行物サービスセンター



金沢広坂合同庁舎 外観



高層棟エントランス庇と床EXP.J



低層棟 外観



庁舎の電気設備について - その2 -

前回に引き続き、電力系の電気設備として電灯設備のうち、スイッチとコンセントについてその概要を紹介します。

1. スイッチの分類

電気設備では、広義的にスイッチというと電源を入れたり切ったりするためのものをいいます。

ここでは、照明器具を点滅するために使用するものをスイッチとして紹介します。

タンブラースイッチ

通常は、照明器具につながる2本の電源線のうち1本だけを入り切りすることにより照明を点滅させています。(写真1)

付加機能を持ったものでは、玄関などでスイッチを操作してからしばらくして切れる遅延スイッチ、部屋の外や換気扇など消し忘れを防止するために使用する確認表示灯付スイッチ(写真2)、暗いところでスイッチの位置を解りやすくするための位置表示灯付スイッチなどがあります。

通常は、スイッチの右側部分に印があり左側を押すと切れるようになっています。

リモコンスイッチ

分電盤内に設置されたリレーを入り切りする事で照明器具を点滅させています。

そのため、広い空間で点滅区分が多い場合など、集中操作、遠隔操作、多箇所での操作ができるため、手近の場所できめ細かい点滅が出来ます。

また、パターン別、グループ別などの点滅設定ができるうえ、その設定を容易に変更する事ができます。

プログラムタイマなどによる点滅も容易です。

スイッチ本体は直接電源電流を操作しないことから24Vのものが多く、形状も様々ですがLEDランプにより消灯時緑点灯時赤の表示がされるものが多いです。(写真3, 4)



写真1 タンブラースイッチ



写真2 確認表示灯付スイッチ



写真3 リモコンスイッチ

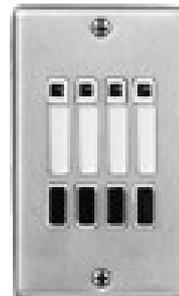


写真4 リモコンスイッチ

2. コンセントの種類

正式名称は「配線用差込式接続器」の受け口部分のことです。

「接続器」ですから電源が入ったまま引き抜くように作られていません、不用意に引き抜くと火花が飛び、やけど火災の発生などの恐れがあります。

コンセントには、用途により以外と沢山の種類があります。

2極125V 15A コンセント

一般的な電化製品によく利用するタイプのもので、90Vから110V程度の電圧が掛かっています(写真5)。

1口、2口、3口などがありますが何れも合計で1000W程度までで使用します。

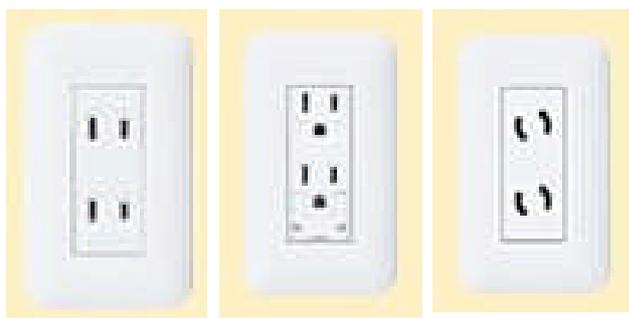


写真5
一般的な
コンセント

写真6
接地極及び接地端子
付コンセント

写真7
引掛形コ
ンセント

同じ形状で、二つ並んだ穴の下にもう一つ穴のあるコンセントがあります(写真6) プラグ部分に接地用端子の付いている場合に使用する接地端子付コンセントで、普通のコンセントも接続できるうえ、アースを取ることにによる感電事故防止効果があるため、水気の多い場所に使われるコンセントは、この、接地極付コンセント(接地用端子付が望ましい)とする事になっています。

プラグが不用意に抜けたり緩んだりしないような仕組みのコンセントもあります、これは プラグを右方向にひねることによって内部でロックが掛かりますのでこの状態で強く引っ張らないように注意が必要です。(写真7)

その他のコンセント(写真8～10)

受け口の形状で、使用条件が決まっています。



写真8 200
V用コ
ンセ
ント(上)
とプラグ



写真9 100V
20A用コ
ンセ
ント(上)
と
プラグ



写真10
100V天井取付
照明器具用
引っ掛けシー
リングコンセント

3. 配線器具の保全

スイッチやコンセントのプレートを清掃などで手入れを行う場合は、乾いた布で表面の汚れを落とすようにして下さい。洗剤などで湿った布を使用する場合は必ずブレーカを落として電源の入っていない状態で行って下さい。

コンセントに差し込んだプラグが緩かったり抜けやすくなっている、スイッチの動作部分がなめらかに動かないなどの場合は、内部の金属が傷んでいます、使用を中止して専門家に修理を依頼しましょう。

スイッチやコンセントを外したり、これらに配線をつないだりするには、専門の資格が必要です。感電事故や電気火災を起こす恐れがありますので絶対にプレートを外したり、規定のプラグ以外を差し込んだりしないで下さい。

コンセントに使用するプラグの刃先には穴が空いています、この穴がコンセント内部で挟まれて安定するようになっています。プラグは確実に奥まで差し込んで使用して下さい。



情報ヘッドライン

北陸地区公共建築賞優秀作品データ
 事業者 所在地 延べ面積 構造規模 竣工年月 設計者 施工者
 野々市町役場新庁舎（行政部門）
 石川県野々市町 石川県石川郡野々市町字三納18-1 約14,170㎡ SRC+S-3/1 平成17年1月 香山壽夫建築研究所 鹿島・真柄・治山社・和泉特定建設JV
 津幡町文化会館シグナス（文化部門）
 石川県津幡町 石川県河北郡津幡町北中条3-1 約9,900㎡ S+RC+SRC-4/1 平成17年3月 (株)五井建築設計研究所 鹿島・豊蔵・岡特定建設JV
 射水市立堀岡小学校（生活部門）
 富山県射水市 富山県射水市海竜町118-2 約4,450㎡ RC+S+W-2/0 平成16年2月 (株)森俊偉+ARCO建築・計画事務所 前田建設工業・牧田組特定建設JV

第28回官庁施設保全連絡会議を新潟地区（新潟県内の機関対象）は平成22年7月13日（火）、石川・富山地区（石川・富山県内の機関対象）は8月5日（木）に開催予定です。会議内容、開催時間・場所等の案内は後日送付します。

今年度の保全実態調査の調査票入力期間は、5月7日～7月30日となっています。今年度も入力期間を2グループに分けています。国家機

関各施設の保全担当者の方は自官署の期限を確認のうえ、保全業務支援システムを活用し、入力等をお願いします。

今年度の保全現地指導を9月頃から開始します。対象は国の機関の官庁施設です。原則官庁建物実態調査と合わせて行います。該当施設や日程等の通知文を後日送付しますので、施設の保全担当者の方はご協力をお願いします。

平成22年度北陸地区官公庁営繕主管課長会議（前期）が5月19日、北陸地方整備局会議室で開催されました。北陸地方整備局からの情報提供と各機関からの提出議題に対する意見交換等が行われました。

後期会議（秋）は、新潟市で開催予定です。

公共建築相談窓口

北陸地方整備局では、国等の機関や地方公共団体からの公共建築に関する疑問・質問等にお答えする「公共建築相談窓口」を開設しています。お気軽にご相談ください。

北陸地方整備局営繕部 計画課
 TEL 025 - 280 - 8880（内線5153）
 （保全関連は内線5536）

FAX 025 - 370 - 6504

e-mail pb-soudan@pop.hrr.mlit.go.jp

北陸地方整備局金沢営繕事務所 技術課

TEL 076 - 263 - 4585

FAX 076 - 231 - 6369

平成22年6月発行 通巻21号

編集：北陸地方整備局営繕部

北陸地方整備局金沢営繕事務所

ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/>

電話025 - 280 - 8880（代表）

FAX 025 - 370 - 6504

電話076 - 263 - 4585（代表）

FAX 076 - 231 - 6369

えいぜん通信@北陸は、北陸地方整備局のホームページでも読むことができます。

北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所の業務全般に関しても、北陸地方整備局のホームページで紹介しております。どうぞ、ご覧ください。